

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	福祉サービス事業者情報網整備事業			会計	款	項目	大	小
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課			
施策	4-7	誰もが安心して利用できる社会サービス体制づくり		主管課長	矢口 道夫			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	福祉サービス事業者	意図	適正な福祉サービスの提供
事業内容	市民への福祉サービスを充実させるために、福祉サービス提供事業者と連携を図り、情報網を整備します。			
事業開始から現在までの状況変化	適正なサービス提供のために、流山市シルバーサービス事業者連絡会（流山市社会福祉協議会事務局）、流山市民間保育所連絡協議会や流山市地域障がい福祉サービス事業者協議会（さつき園事務局）を通じて、任意で会議などの参加をするとともに情報の提供を行っています。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	流山市シルバーサービス事業者連絡会開催回数	3			
②	流山市民間保育所連絡協議会開催回数	13	12	12	回	↑↑↑	
③	流山市地域障がい福祉サービス事業者協議会開催回数	8	7	5	回	↑↑↑	
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 福祉サービス事業者への情報を提供するとともに、事業者との情報を共有することにより連携の強化を図ることができている。また、必要な都度、個別に情報を発信している。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)							
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	福祉サービス事業者への支援	③取り組みの課題	福祉サービス事業者に対して、適正なサービス提供や運営を行えるよう積極的に情報提供を行う必要がある。
②今年度(H26)に実施した取り組み	シルバーサービス事業者連絡会、民間保育所連絡協議会や地域障がい福祉サービス事業者協議会の各会議に参加し、情報提供を行った。	④今後の改善計画	各協議会との連携を図り、情報の共有化を図っていく。